

* 松尾 秀邦 元顧問

やまざと12号拝受。14頁のベルクハイム庭にある”愁心”の文字に30年近く前になるWV部唯一の遭難死を思い出しました。碑に”愁心”を書いてくれと頼まれましたが、筆は小学生以来持ったことがないので、幾度か清書して提出した次第です。当時のキャプテンは小西君だったと思いますが。

遭難地に建てられてから一度訪ねたきりでしたが、ベルクハイムの庭に安置されているのを見て安心すると同時に、逝った徳島出身の桂君の家族の方々を思い出します。ボケ老人の戯言です。

* 田村 昭夫 0期

M1-M4・・Mn 皆出席予定。



* 高田 昌嗣 4期

やまざと12号ありがとうございました。先に連絡した通り、1月中旬に東京を引き払って故郷の久留米に帰ってきました。住所の山本町が示す様に、家から5分も歩くと耳納山脈の登りが始まる田舎です。目下引っ越し荷物の整理に追われていますが、一段落したらハイキング程度から徐々に山歩きに復帰する予定です。

鈴木正國君(4期)の訃報は驚きでした。田村さんより電話で連絡を受けましたが、都合がつかず、葬儀にも出席できませんでした。思えば1994年8月にチェコで開催される学会への出席途中で、駐在中のオランダへ立ち寄ってくれアムステルダム近郊を案内したのが彼に会った最後でした。冥福をお祈りします。

編集後記の舟田さんの一文は多くの問題を提言していると思います。本人の意志確認はやはり必要でしょう。自分はせめてお荷物とならない様にしたいと思います。よろしく。

* 白井 勇 9期

前略 会報12号お送りいただきありがとうございます。森島先輩の『鈴鹿セブンマウンテン制覇』楽しく拝読させていただきました。鈴鹿の山も最近、ゴルフ場から眺めることが多くなってきたことを反省しています。四季を通じて楽しめる山です。10期の寺本君、11期の森川君がご案内させていただきますので、是非お出掛け下さい。小生は山麓の温泉で一緒にさせていただきます。

* 高田 和守 11期

卒業後30年が経ち、三人の子供達(男ばっかし)も巣立ち、家には夫婦と犬(名前は元太雄のミニダックス)と云う生活でしたが、次男が離れに居を構え、孫二人(男と女)が生活を変えてくれました。

最近の愛唱歌は「孫」。仕事から出歩くことが多いのですが、帰ると孫を相手にとっても、当の孫はそれ程でもなく、拍子抜け。まだの方は早く持ってみて下さい。かわいいですよ。

* 近藤 正興 12期

大変ご無沙汰いたしております。OB会報「やまざと」12号読ませていただきます。たいへん遅れてますが、住所変更を連絡しておきます。

* 辰野 隆義 13期

スキー合宿参加させていただきます。春の小屋作業の打ち合せは後日やりましょう。荷物が多くなるかもしれませんが、15期の皆様の若さに期待しております。

* 仁藤 早苗 14期

三重では養鶏や養豚をしていた夫も、やはり牛をやりたい、しかもフリーストールで飼い、ミルクパーラーで搾乳するのではなく、一頭一頭搾乳している大田原でやりたいと、二年間いた三重を後にして、2月中旬引っ越ししました。三重にいた時は、喜久子や外茂子などと会おうと云ってたけど、結局子供のことや親のことで頭が忙しくなり実現しなかったね。桑名の人も会えなかった。

大田原の憂しはとてもおだやかで、モーとなく声を聞いたことがないです。村人は30人位、うち若い人が10人いて、とても元気で自由でのびのびとしていて村の雰囲気を作っています。私は子供25人と大人の食事づくりをしています。昨日は我が子光太郎の希望で、日光の霧降アイスアリーナ(屋外)でスケートを楽しみました。では又、会いましょう。

* 三宅 毅 15期

また東京で一人暮らしです。

* 椿川 利弘 18期

春の小屋酒場と登山道整備には参加しようと思っておりますが、「マルチトレーニングin倉谷」とは、トレーニングをするのですか。また、5月12日(金)の平日としているのはなぜですか。でも一応参加にしておきます。

8月の白山登山については、カナダに行く予定とダブルなれば、参加したいと思っています。

* 竹中 敏 21期

「シェルパのふるさとを訪ねて」届きました。ありがとうございました。とても感激しました。トレッキングいつか行きたいなと本だけには買ったのですが、ぼくにとっては夢みたいなものです。

チベットやダライラマの本は興味があって、結構本を読みました。実際にその世界をじかに見たことはないのですが、おおらかな感じが好きです。

ちょうど5年前の3月に見たテレビが今でも忘れられません。ヒマラヤ山麓の小さな村で行われたカーラチャクラという法要の様子を伝えるドキュメンタリーでした。

法要の初めに砂曼陀羅を描くのです。2m四方くらいの板の上に何色もの砂を使って、信じられないくらい緻密で極彩色の絵を描くのです。一番初めにダライラマが下絵の線を引き、その後僧侶達が下絵にそっていろんな色の砂を落としていって、やがて曼陀羅となるのです。出来上がるのに2~3日かかっていたと思います。そして法要が始まり、遙々遠くから何日もかけて集まった人達が拜んだり、ダライラマの説話を聞いたりして過ごすのです。

何日か過ぎてカーラチャクラの最終日、砂曼陀羅は棒で掻き混ぜられて、あっけなく一瞬でただの色の砂になってしまいました。僧侶達はその砂を外に持ち出し、ヒマラヤの万年雪と氷河から融けだす川にサラサラと流すのです。あの場面の白い峰と、青い空と、ほとぼしる川にキラキラと帰って行く砂の光が、今でも目に焼き付いています。エンヤのシェパードムーンという曲がバックに流れていました。

あんなきれいなテレビは他に見たことがありません。

テレビや本より、実際にその場へ行って見る方がずっといいと思います。

* 荒戸 美雅 25期

2005年 愛知万博が瀬戸 海上の森で開催されることになっていますが、地元では様々な意見交換がされています。

住民の環境に対する意識の高まりに、今までの役所の進め方、コンセンサスのとり方では対応できなくなっているようです。

会場候補地を歩いてみると、どうしてこんな

所というのが、私の実感です。大阪がオリンピックを開催したいと考えている所は湾岸エリアで、こちらの方が妥当と思われます。

身の回りにも様々なギャップが出ている中で、子供の育て方、社会との関わり方、仕事の仕方などを考えています。

* 福田 武・由佳 37期

OB会費(5年分×2人分=2万円)を振込みました。今までの滞納、大変申し訳ありませんでした。OB会費滞納にも関わらず、「やまざと」に住所変更など掲載していただきましたこと、大変恐縮しております。

やまざとを読む度、山へ行きたくなります。これからも楽しみにしております。

* 西田 秀輝 39期

会費の納入が遅れまして申し訳ありません。「やまざと」の発刊をはじめ、事務局の方々に様々の御配慮を頂き頭があがりません。金沢を離れてはや2年になる私にとって、「やまざと」は、金沢と大学時代を思い出させてくれ、元気がわいてきます。これからもよろしくお願いします。

最近ではゲレンデスキーに没頭しつつも、晴れた空に浮かび上がる雪山を見ていると、無性に登りたいと思う時があります。ワングルの血の恐ろしさ(?)を感じるこの頃です。

振込票通信欄から

* 藤森 忠夫 18期

98年11月からマレーシアへ単身赴任中。

* 佐藤 かおり 33期

毎回やまざとありがとうございます。

私事ですが、昨年結婚し、新婚旅行は、イースター島、そしてアコンカグア(6962m)登山をしてきました。相手は福井工大ワングルで、(10数年前)に合ワンで一緒に竜王岳へ登った人です。

* 宮崎 耕輔 35期

いつもお世話になっております。結婚をしまして、住所が変わりましたので、よろしくお願いします。

03期西尾.txt

3期の西尾です。いつも、OB通信有難うございます。

昨年12月に会社を卒業して、今は、次の人生の行き方の可能性を探るべく、いろいろと、左手でジャブをだしながら、その反応を確認しております。

宮仕えはもう沢山だ、時間に縛られたくはない、人からノルマを与えられるのも嫌だ。自分で考え、自分の責任で時間と仕事をコントロール出来る、自営業であれば、気力と体力の続く限り、70歳・80歳になってもやれる。

などと考えて動き回っておりますと、結構忙しい毎日です。

03期登内.txt

ホームページ拝見致しました。
最近はお老介護で両親の面倒を見るために中央線「あずさ」と或は高速バス又は車で信州・伊那まで往復し途中の景色を楽しんでいます。雪の降る小淵沢から見る甲斐駒とか立科からの浅間とか楽しんでおりますが、どうも時間が無くてともう一つ体力に自信が無くトレーニングは専ら内臓に限ってしまっています。こちらの方は毎日欠かさず頑張っています。
本日の朝日新聞にはアルツハイマーにはアルコールに強い人は1.6倍とかの記事があり心強く頑張ろうとしています。
楽しいページ有難う御座いました。
現在は琵琶湖の第24回鳥人間コンテスト選手権大会の人力飛行機の作製に頑張っております。
昨年に引続き出場しますのでご声援お願いします。
「飛びたい野田！空でいい野田！」で飛ばします。
金沢からは金沢工大の夢考房チームが今年も参加するのではと思っています。

04期森島.txt

メールならびにOB会通信、拝見しました。
元気に冬をたのしんでおられるようで、うれしいことです。こちらは、雪どころですが、まだ雪と戯れるまでには至っていません。

雪との戦いもう終わりですが、その分、春が楽しみです。今年は近くの山から始めて見ようかと思います。

あ、また舟田さんに聞かれたら召集礼状が来るから、秋になってから言わないと.....

06期石橋.txt

今年は寒い日がおおかったのか、例年より桜の蕾が小さく、北の国ではまた雪のようですね。九州では落の臺は1ヶ月以上も前に食卓にのぼりました。そろそろ桜の便りが聞けるのですが、まだ、構内の桜も咲きそうにもありません。

今月4期の高田さんと6期の大崎と小生で会うことにしておりましたが、4月1日より小生がタイ国にでかけるため1ヶ月さきになりそうです。例年タイへは3月に行くのですが、「先立つもの」が狂いました。学生2名、院生1名を連れて、タイ北部の山中です。今は乾期ですが、そろそろ夕方のスコールがやってきます。帰国は3週間後です。そのあとにミーティングの報告をいたします。

07期村田.txt

連休も終わりました。仕事に精を出しましょう。

この連休は立山スキーの予定を変更し、中国山地第二の高峰？、氷ノ山（1510米）へ登って来ました。車道が上までついており、たったの1時間半で頂上に着いてしまいました。我々は長靴で、他の多くの登山者は登山靴にスパッツを付けていました。あまりのあつけなさに、向いに見える鉢伏山にも登って来ました。色んな花々のも出会え、特に清流の中の梅花藻は絶品でした。これからは、こちらも新緑の季節、楽しみです。

08期篠島.txt

この度、自宅にもEメールをいれました。
5月連休は四国の石ずち山に登ろうと準備していたら、まだ雪が多く装備に注意してほしいとの地元役場の話、嫁さんと一緒では止める事に決め、山陰のさんべ山に切り替え4・30に登頂、久しぶりにカルデラのハッキリした山を見てきました。

このあと、神戸に帰ってからは、初めて北六甲の丹生山に登り、六甲とは違う自然の豊かさを味わい、この連休は山三昧でした。

それにしても、うちの嫁さんはよく付き合ってくれるものだ、と我ながら關心しています。

09期清水.txt

清水一の家の方清水あつ子ともうします。旧姓鈴木あつこです。

4年のとき退部したので会員ではないのですが、奥名くんの顔はなんとなくおぼえているような気がします。わたくしの顔は覚えておいでですか？多分おぼえてはいないでしょうね。いろいろな通信物から大島会長はじめ皆様のご努力すごいな—といつも感心しているしだいです。

わたくし個人的にはここ28年ぐらい山には行っていません。でも、いつか倉谷の山小屋に行ってみたいものだ、思っております。ここ千葉は、やはりあたたかいです。もう金沢の寒さには耐えられないかもしれません。それでは、どーぞお元気で。清水あつこ

09期吉田.txt

この 添付・「ただに血を盛る・四高南下軍」ちょっと 変じゃないですか？

<http://www.mahoroba.ne.jp>

この連休は ヘルニア発症後15ヶ月、沈静化に向かい、初めて 七本槍のしづヶ岳 近くの余呉・菅山寺へ 向かいました。

余呉湖で羽衣を隠され、漁師の妻になった天女が生んだ子供が、菅原道真で 6歳に 入門したのが、菅山寺と いわれのある寺です。今回 下見、次回 登頂の予定です。こんな情けない内容でなく、早く 北ア・南ア・白山へ行きたいものです。

10期木津.txt

先頃より、メールの数々ありがとうございます。

このところ、といっても、ここ5年ほどアウトドア活動は開店休業状態です。子供達を連れて、今頃の春の低山歩きを楽しんでいたのは10年前のことです。小学生だった子供達にゴム長をはかせ、かたくしまった雪の牛岳、医王山、白木峰等を歩いたのをつい昨日のように思い出します。このところ、子供達のスポーツイベント（バスケットボール／中学・高校陸上駅伝大会）、また私たち夫婦で楽しんでいるフレッシュテニスという室内レクレーションスポーツで休日の過ごし方が決まっています。

3人のうち、長女と長男は社会人、末の次男は今年進学し箱根駅伝を目指します。今、お世話しているフレッシュテニスというスポーツも高岡市の連盟の10周年記念行事がこの4月に終わったら、小生も第一線を引かせてもらい、休日の過ごし方を再考しなければと思いつつ、夫婦してそろそろ山歩きを再開しようかと話したりしています。

この10年のフレッシュテニス記念誌発行のための写真探しをしていたら、なつかしい金大ワングル25周年白山登山の時の集合写真の数々ができました。先頃不慮の事故で亡くなった大出君一家の写真もありました。当時の参加者には、なつかしい思い出ともなるでしょうから、画像をメールに添付して送ってみます。JPGファイルに圧縮してありますので多少画質が落ちているかもしれませんが、大きなサイズのものがご入り用ならメールを頂ければ個別にお送りいたします。

節子様によろしく。

11期青柳.txt

春の倉谷・小屋酒場は盛況のようですね。

高三郎の石楠花もあたり年とのこと。

元気があると楽しみが多くて結構なことです。

さて、当方は、5連休と連休明けの激務疲れで、ぐったりしてます。金融関係は、連休明けは大忙しなのです。そして、関西方面への純粋に仕事の出張があって、大変だったのです。

連休は、前半ちょっと信州で遊んできました。女房殿の麻績村（聖高原）の別宅を基地に、ドライブと春スキーを楽しんだのです。セッチャンのヒマラヤ紀行と水戸の先輩・桑名の同輩

に触発されてのもので、今春の残雪の多さがそうさせたのです。

ドライブでは、3日に、軽井沢一浅間一万座一志賀と高原ルートを走って見ました。コブシの花咲く軽井沢から、唐松の芽吹く浅間高原、万座温泉からは、雪の回廊を通して今だスキー天国の志賀の洪峠まで、一気に走り抜き、快適・快適！！5000Mから2000Mまでの標高差が作り出す、春の移ろいの面白さを満喫しました。

4日は、八方尾根まで、日帰リスキー。

9時から5時まで、またまた足がつるまで滑りこんでしまった。兎平から上部が、全面滑走可能。やはり、山岳スキーの趣を持つ八方の春スキーはまた、快適・快適！！白馬三山は、午前中雲の中だったが、午後には顔を出し、絶景を楽しませてくれた。

ただ、当日は風が強く、オリンピック98の男子滑降スタート地点にいたる最上部のリフトは、11時ころでストップし、スキーは、兎平・黒菱のコブコブ斜面でのゲレンデスキーとなった。3月の志賀で、コブ克服のキッカケを掴んでいたのも、午後はもっぱらコブの練習。でも、兎平のコブはきつい。我がカービングは、かのモーグル金メダリスト里谷多恵 チャンも愛用のものだが、乗る人が違えば結果は異なることを再体験した。

でも、本来の山スキーの楽しさは、味わえなかったのが残念。やはり、立山・月山そして八甲田、さらには白山。日帰リスキーではなく、時間をかけて、自分の足で歩いて登って、滑らにやだめだな。来年は、桑名のオジサン誘いに乗ってみようか。

5日は、麻績の家の庭の草取りやら、凍結防止をしていた水道の調節やら、本来の仕事をしたあと、麻績村から大岡村まで、北アルプス展望ドライブを楽しむ。大岡村は、日本一のアルプス展望の里。まだ桜の花が残った、安曇野の対岸の村からの残雪のアルプスは、それは見事。絵になります。

常念から白馬に繋がる見事な景観をタッブリ楽しむ幸せに浸りました。

幸多ければ、苦も多し。3時過ぎに帰宅の途についたが、渋滞は想像以上。高速に乗って15分で渋滞となる。思い切って高速を降りて、国道を走ったのだが、国道でも渋滞も憂き目にあった。帰宅は深夜の1時。実に10時間の苦痛のドライブを強いられたのでした。

そして、連休最後の7日は、法事があって、1時間近くの正座を強いられたのでした。八方のコブ斜面での転倒の後遺症もあり、我輩の足腰はもうメタメタです。

今時の日本の首都圏のサラリーマンの連休は、かように楽しみを得れば、苦行も倍になって帰ってくるのが常であります。今時は、地方都市なかならず信州・北陸方面にお住まいの方は、それだけで幸せであることを、噛み締めてほしいものです。

でもどこに住んでも、楽しみを求めなくっちゃ生きていく意味はない。スキーは、倉庫にしまつて、車もタイヤを交換し、夏モードの遊びを考えよう。

今年の8月の白山はよさそうですね。気持ちが動いて来ます。就職活動中の長女と問題の17歳で受験生である長男の動向の見極めが必要ですが。

11期上村.txt

私は連休中は故郷の高鷲村で過ごしました。今年は'96以来久しぶりに5月連休が桜の季節となり、高鷲村の沿道の桜を楽しみました。高鷲村の北の庄川村の庄川桜はまだでしたが、南の白鳥町ではもう散ってしまいました。

高鷲村では仲間達と恒例の水芭蕉祭りの物品販売の手伝いでした。無料メールアドレス、デジタル工房（デジカメ写真をTシャツにプリント、プリクラ）、湿原保護ボランティア（アンケート、絵はがき販売による寄付集め）、ひるがの良のいいところツアーが我々の商品です。たこやき、焼きそばなどと違い、関心を示す人は少なく、訪れるのは地元の知人がほとんどでした。無料メール加入者は我々の店を手伝ってくれた大学の先生とOLの2名だけという淋しい状況でした。

今年の観光客の入りは去年に比べて大幅ダウンでした。湿原植物園入場者は300人と去年の1/10、交通整理の人によれば1/3とのことでした。やはり高速の影響でしょう。今年は庄川まで延長されたため、高鷲村は通過地点になってしまったのでしょうか。磐越など、他の自動車道で起こっていた現象も、目前にして初めて実感したという次第です。高鷲村も観光産業の地盤沈下を想定した施策が必要になってきたように思います。

白鳥町役場の情報化担当の方ともゆっくり話す機会がありました。白鳥町にはソフトピアプランチとしての拠点整備とデジタルTV共用のインフラ整備を実現したいとのことでした。しかしながら、その熱い思いを上に伝えるのは先進的な白鳥町でも難しいようです。自分の言葉だけでなく、地域活性化に実績のあるシンクタンクの報告書として提出してもらおう手も考えているとのことでした。

高鷲村では今年春まで、県から補助金を200万円もらってリゾートオフィス計画の調査をやっていましたが、白鳥町がその拠点として機能し、高鷲村だけでなく福井県和泉村にまでリゾートオフィスをとすることは夢ではなくなる時が来るように思います。

高鷲村にはこの秋、サービスエリアが開設されます。その専務（3セクなので、社長は村長です）ともゆっくり話す機会がありました。ここでは、①メールで連絡できない業者とは取り引きしない②成績の芳しくない下位5つの業者は新しい業者と入れ替えるとの方針を打ち出すそうです。それぞれ、今から始める事業は全て情報化を前提にする、競争原理を導入して活性化し、サービスエリアと業者の癒着をなくし、すこしでも安価にお客に提供することが主旨だとのことでした。ここではTVカメラを設置し

て白山や高速の映像をNHKに提供するために、光ファイバを設置するとのことでした。電力会社の回線を使い、役場にも接続することで、地域情報化の布石にしたいとのことでした。

人材の乏しい高鷲村ですが、このような計画が立案できるのは、ダイナランドスキー場のリストラでスキー場経営に携わっていた村となじみのある外部の人材が得られたからです。人材をオープンにする最高の事例のように思いました。

東海北陸道が完成し、サービスエリアができたら是非ここに寄って下さいね。

11期加藤.txt

今年は、曜日が良くて皆様、いろいろなところへお出かけになったようですね。

私は、5/1、5/2、5/6と真面目に勤務させていただきました。特筆すべきは、通勤には苦労せず、日頃、満員の電車もゆっくり座ることが出来ました。

難を言えば、周辺が連休というので気分的に、先生も生徒も燃えていなかったということでしょうか。

連休でお疲れの方々、ご苦労さまでした。ハイ

11期森川.txt

5月、旅行には一番良い季節です。つえを持って5/4～6立山地獄谷温泉療養に行ってきました。

5/4朝一番の「しらさぎ」に乗り、のどかな富山地鉄に揺られて12時30頃立山駅着。室堂行き直通バスはもう終了しており、ケーブルの順番を2時間半待つ。食事をして時間があるので、そう言えば小山さんが昨年話していたのを思い出して立山カルデラ砂防博物館を見学。なかなか面白い。立山カルデラが加賀藩の領地だったのは初めて知った。また、立山温泉が昭和44年の大雨でなくなった事も。ちょうどその時、白山の別山にいたのを思い出した。（別山でただ一度雨に降られた時だ。13期の雨男（大島君）と雨女（あつ子嬢）のせいだ）昨年乗れなかったゴンドラで美女平へ。そして室堂着16時半。快晴です。（午前中はガスっていたとの事。）そこで観光客に早変わりして、「雪の大谷」散策。剣、大日がいい。雷鳥荘について、温泉に入り、大日に沈む夕日を見る。雲がないので、夕焼けの色はイマイチ。雄山の色も薄いピンク。

5/6快晴。一の越まで歩いて、御山谷滑走。あたたかい。スキー服はいらない。昇りもスキーもシャツ1枚でOK。最初は快調だが、中ほどから雪質が悪い。それでも、今年は雪が多い。御山谷は黒部湖畔まで雪がびっしり。黒部湖まで1時間半歩くが今年は雪道。去年より歩き易い。ロープウェイを1時間程待つ（昨年は確か3時間ほど待ったが）室堂へ時間があるので弥陀ガ原

まで白山を見に行くが全然見えず。雪質も悪い。バスで室堂へ戻り、宿へ。宿の手前で昨年と同じように雷鳥の御出迎えを受ける。昨日と同じような曇りとつないタ焼けを見る。

5/7曇り後晴

一の越まで歩いて、御山谷滑走。今日は少し風が強い。ひと滑りした時、東一の越へ行く人が目に入り、つられて行くことにする。今年は雪が多いので、半分程斜滑降で滑って、後20分程歩く。スキー靴のため、歩きにくく少しあぶないトラバースである。東一の越からは上部はかなり急斜面である。急斜面が終わったら雪が柔らかくかえって悪戦苦闘。暑い、板は雪の中に10cm程もぐりし・・・（なぜタンボ沢と言われるのかが分かった）黒部湖までの予定が黒部平（ロープウェイの駅）でギブアップ。小山ガイドの言うとうり!!!御山谷は最高。この時だけは、小山さんの偉大さを感じた。来年は是非御一緒願いたい。後は扇沢一大町経由で帰宅。

2000年のスキーは快晴の八方で始まり、快晴の立山で終わりました。

11期芝田.txt

お天気にもぐらめた連休、皆さんいかがお過ごしですか。

私の場合、9連休にフレックス休み5日を加えると、16連休にもなったのですが、それはしませんでした。（一時はモロッコ行きを考えたのですが・・・）

その代わり、日帰りで近場を巡っています。

とくに、安曇野はすばらしいです。ちょっとした扇状地状の斜面に果樹園に囲まれて集落があります。リンゴや遅いサクラ、モモの花が咲いて、こいのぼりがあがり、残雪の北アルプスが見えます。葉葎きの農家や白壁は、典型的な日本ですね。

美術館もたくさんできたと、新しいレストランもあります。これらを順番にたずねていると、何日も楽しめます。ヒコーキに乗らなくていいのがうれしいですね。

皆さんは、いかがお過ごしですか？
！

11期長岡.txt

淡い新緑の日々もたちまちに過ぎて、関東の平野部で見る緑はどこも同じ色の季節となりました。立夏を過ぎたここ数日は、本当に初夏のような。小宅近くでは、藤の紫、そして、高貴な感さえ漂わす桐の花。

今年の連休は、本当によいお天気でした。皆様それぞれに、お出かけになったにしろ、ごろ寝にしろ、のどかな日々をお過ごしであったことと思います。小生の場合、短期間ながら北陸での滞在とその往復も爽やかな緑の風光の中を

。松本盆地では桜（ソメイヨシノ）は終わり、高山盆地に入ればちょうど桜の盛り。実家までの幾つもの峠を越すごとに、標高に応じて、桜〜コブシにヤマザクラと新緑〜新芽が萌え始めた梢の木々〜残雪に覆われた笹原と疎林、の緑り返し。ソメイヨシノも、山間部のもものは花の付き方が豪勢で、別種かと見まごうばかり。また、飛騨山間部の随所では、神社仏閣などで目にするしだれ桜がそよぐさまなど、心を洗われるばかりの風光。

ところで、連休の混雑は避けて、これからお出かけの方もあらうかと思しますので、ご参考まで周辺の道路状況などです。なお、残雪期のこと故、日々に状況は変わりますが、悪い方向へは向かわないでしょう。

1. 手取川（牛首川）上流域

市ノ瀬までの道は問題なし。行ってみた5月5日は登山者の駐車がかなりでしたが、それでもまだ空きスペースも随分。道路脇には残雪も所々で、普通の年には市ノ瀬あたりでのヤマザクラが満開なのが、今年はまだ。やはり、春の進行はかなり遅いようです。

以前から有名だった市ノ瀬のミズバショウがちょうど満開でした。（市ノ瀬発電所の手前から南山腹を少し登る：新しい道標あり）まだ1週間以上は花の見頃が続くそうです。かつての出水田跡に、自然に広がったもので、開けた茅原に群生。残雪・水流とミズバショウというイメージを期待される向きには、ちょっと違和感ですが、一面の見事さは、県内随一。花の数などは、大嵐谷など比較になりません。普通はちょっと気付かないものですが、爽やかな甘い香が一面に漂っていました。

余談ながら、快晴の日の屋前にお出かけになれば、目前に聳える別山山頂近くの雪の斜面が陽の光をぎらぎらと反射していて、かつての春山での想いを彷彿とさせるような。

白抜山・鷲走ヶ岳への林道は、昨年、東二口の集落はずれの家のところで鎖錠されたまま。大変便利な道だったのですが、歩くと1日がかりの山になってしまいました。（下田原谷からの林道が通れば問題ありませんが、この時期はまだ無理）もう、開くことは当面ないような気配ですが、小生のように遠方から来て短時間で、という者には大変困ったことです。

白山スーパー林道：道路での掲示によれば（小生の記憶に間違いなければ？）、今年の開通は6月5日。この頃にはまだ、三方岩岳山頂一帯は雪がかなりの筈。白雪の白山と、溪間の新緑の対比が見事なことでしょう。

目附谷の林道：一里野からの林道は、スキー場方面への支線分岐のところで鎖錠。開いていたとしても、しばらく先で雪。スキー場方面へはそのまま進めますが、スキー場の尾根に出た先で、雪で前進不可。ここまですれば、蛇谷を隔てて、大笠山と笈ヶ岳の眺めが見事。スーパー林道の帰りなどに、この地点まで登って、暮れゆく山々を眺めながらのビール一杯など、1日の山歩きの終わりに相応しい満足感が得られることでしょう。なお、目附谷を大きく廻り込む上記の林道本線に対して、目附谷西支谷のウサギ谷から登って合流する支線の林道は、上

部の林道本線合流点（ここも好展望）までの除雪が終わっています。

白峰の西山南山麓：クロスカントリースキー場の整備が終わって、広々としてしまいました。大道谷から、ここを経てさらに上部に伸び続ける白木越林道沿いでは、白山の展望絶好（加賀室跡～山頂部～三ノ峰までの大展望）の地が出来、写真を撮りに来る人も増えていました。むろん、のんびりと白山を眺めながらの屋食などにも最適。

五十谷の林道：災害復旧で、この夏一杯まで進入禁止となっていました。昔の自作りの地あたりに行けば、白山の展望が見事だったところ です。

2. 庄川本流の上流域

ここでも春は遅いと感じつつ通過で、御母衣湖脇の庄川桜は未開花。（普通は連休が見頃）まだ、奥では雪ということもありますが、大白川、ブナオ峠、天生峠への道は、鎖錠のまま。

境川ダムへの道（大笠山への登路、4日に遭難がありました）は、登山口まで通行可。連休のせいか、この手前のキャンプ地も賑わっていました。

三方岩岳麓の大窪ノ池のミズバショウは見頃、ただし例年ならば周縁のミズナラ疎林の林床を一面に彩るカタクリは、極僅かが開花のみ。緑もほとんど見えずで、やはり、白山周縁全域で、季節の進行は1週間ほど遅いようです。

3. その他、周辺

富山県城端の、縄ヶ池への林道は5月10日まで除雪中。このミズバショウは本当に見事でしょう。近年は有名になったせいで休日大渋滞につき、早朝朝夕暮れがお薦め。毎年、連休には開くはずの安房峠（旧道）は、18日から。

有料トンネルが勿体ないと、帰路、野麦峠經由としたところ、問題なく通れるものの、峠は雪で一杯。雪の乗鞍岳眺望は、いつに変わりますが、峠の整備が一層進んで、前景を含めた被写体とはなくなってしまったのが残念。ただし、このルートは、連休期が終われば、西側の阿多野郷と野麦での工事が再開されて、日中3回の僅かな時間帯のみ通過可となる（路上での表示による）ので、要注意。

ついで、この近くでは、秋葉川から柳蘭峠に登る道（秋神温泉から先）と、鈴蘭峠が、通行不可（路上での表示による）。

15期坂尻.txt

GWも今日で終わり。明日からまた長い一週間が始まります。

で、来週のベルクハイムの小屋作業&新緑を愛でて飲む会に久しぶりに参加したいような気分になっております。13日の朝から、14日の午前までなら何とかかなりそうです。

14日の午後から、化学教育研究会という団体の定期総会に出席の予定なので、それまでに金大（角間）へ行ければと思っています。日程とかが決まっていたら連絡を頼みます。

15期松林.txt

本日（2月28日）、恐れ多くも教祖さまが私をお訪ねくださいました。

うかがえば、野沢温泉でのスキー合宿のあと、そのまま金沢へお越しになり、このあと、春を求めて熊野古道を歩かれるのだとか。

私も思わず、仕事なんか放り出して、教祖さまのお供をさせていただきたい衝動に駆られました。暗くて寒い雪空のもとで、週78時間労働にうんざりしている私の心を知っていて教祖さまは、お訪ねくださったのでしょうか。

おかげさまで、教祖さまを励みに、もう少しだけがんばってみようかな、という勇気をいただくことができました。

どうもありがとうございました。

15期上馬.txt

5月5日、連休中に実行しようと考えていた日が、とうとう来た。体調は万全とは言えないものの、事前のトレーニング山行で登った観音山での感触から、なんとかなんと、とにかく行けるところまで行こうと思い出発した。

朝4時自宅発、犀川ダム4時45分発。桂氏の石積みと高桑氏の石碑の前で黙祷し、まだ草木も伸びず、朝のひんやりした空気の中、順調に進んでいった。ツクシの建ち並ぶ倉谷を過ぎ、沢を跳び越え、まもなくベルクハイムの下へと思ったところ、なんと流れが行く手を遮っていた。川原が荒れ、流れが二つになり、その一つが道を2か所で断ち切っていたのだ。小さな高まきと、流れの中に置かれた石を頼りに、何とか濡れずに渡る（帰りは雪解け水で増水していて少し濡れてしまう）。ザゼンソウやスミレサイシンが目だつ道を行き、金山谷も石づたいに無事跳び越え、新道の取り付きで一休み。近くでオオルリとウグイスの囀りが、遠くからクロツグミの囀りが聞こえていた。

急な登りの始まりであったが、ゼンマイや満開のイワウチワを左右に見ながら、呼吸を乱すことなくゆっくりと進む。ユキツバキやブナの新緑にシャッターを切りながら登っていくと、やがて残雪の上に行くことになった。カモシカの足跡が続く、ブナの花やノウサギの糞が雪の上に落ちていた。砺倉分岐の手前のテントサイトで休んでいると、かさこそと近づいてくるリスに出会う。雪の消えた尾根筋では、ここでもイワウチワが満開。

クラコシ尾根にはいるとブッシュがじゃまになる。タムシバは花を開いていたが、シャクナゲはまだつぼみであった。標高1000m付近から高三郎山を撮る。中三方、口三方、成ヶ峰なども、まだたつぷりと雪を付けていた。両側のコシアゲ谷もト谷も、雪崩の跡が生々しい。ショウジョウバカマやイワナシの花に顔を近づけながら、新道分岐への急な登りをなんとか乗り切る。分厚い残雪の尾根には、先行する一人の登山者の足跡。そして正面には雪の多い大門山。まだ、標高1000mくらいまでしか色づいていない。そこからはほとんど雪の上を歩き、10時55分ようやく山頂に立つ。白山そして周りの山々に頭を下げる。

残念ながら白山は、もやで霞んでいたが、レンズを取り換えてシャッターを切る。その後、ヤブの中で昼寝をする。足と呼吸はなんとか大丈夫であったが、去年手術した首から肩にかけての疲れがたまってきた、横にならないと我慢できなくなっていた。気がつくと1時間半ほど眠っていた。一人だけの静かなひとときであった。

12時40分発、帰りは旧道を下る。ブナにヤドリギがやたらと目につく。レンジャクであるうか、その粘っこい糞と思われるものが雪の上に落ちていた。下りは、さすがに疲れが足に出てきた。学生時代は、ここをよく走って下ったことが信じられないくらいに、膝のまわりが痛くなっていた。ストックを持っていなかったら、もっとひどかったことだろう。途中、下から登ってくる男性一人。そして、鈴を鳴らしながら下ってきて、「今日は最高でしたね」と言って追い抜いていった女性一人。

この時期としては、以外と少ない登山者であった。ほんとうは疲れていたからであるが、また来週もくるからとベルクハイムに立ち寄らず、3か所でおいしい水を飲みながら歩き、ダムに16時30分着。振り返ると、新緑の上に白く輝く高三郎がまぶしかった。

15期宇野.txt

GWは、熊野古道を1泊2日で歩いて来ました。心地よい春の風に吹かれながら幸せ一杯で熊野の山村をぬけてきました。

ほんの数年前まで、ほとんど観光客の入ったことのない山村では、人懐っこいおじいさんやおばあさんが行き交う観光客に愛想を振りまいていました。

自然の中で一人で生きる勇気が無い以上、回りの人々と仲良く暮らす術が無い。

熊野古道の途中の山の中に、「高原霧の里」というところが有りそこに「イイデスハンソン」が住んで居ました。最終バスを待っていた所にバッタリ出くわしサインをもらいました。嫁さんや春菜は止めると言いましたが、偶然は大事にしなければとミーハーになりました。旅の楽しみは、その土地の景色と人情です。それを満喫出来た時良い旅だったと言えるのでしょうか。

P.S.

GWも終わり明日からまたサラリーマンです。

16期金森.txt

やまざと12号受け取りました。ありがとうございます。いつも楽しく読ませて頂いています。ベルクハイムの給排水設備が整備され水洗トイレが出来たことには感心しました。思えば私たちの卒業の年に山小屋を改築したのはもう25年も前のことで、あの時のどの部分が今も残っているのか一度たずねてみたい気がします。

昨年11月に勤務先のHewlett Packardが分社し私が所属する計測器部門は新会社「Agilent Technologies」に、日本法人は「アジレント

テクノロジー株式会社」になりました。Email Addressも新しくなりました。しばらくは旧アドレスからも転送されて来ますが、OB会名簿を更新いただければと思います。

16期中野.txt

OB通信 毎度ありがとうございます。いつも、季節を綴った文章を読んで懐かしい山の情景を思い浮かべています。山小屋週間に参加できなくてすみません。参加されるみなさま、ごくろうさます。大変だと思うけど、うらやましい気もします。変ですね。それではまた。

ご苦労さまです。(いろいろと) 昨年の4月から滋賀県へ単身赴任となりました。彦根のアパートで気ままなひとり暮らしをしています。といっても週末には高速をぶっ飛ばして福井へ帰り、月曜の早朝にアパートへ戻る変則的な生活パターンを繰り返しています。そんなわけで土日は家族と一緒に過ごすことを優先してしまいOB会行事にはなかなか参加できません。楽しい企画が一杯なのに本当に残念です。ひょっとしたら家族で参加することもあるかもしれません。そのときはよろしくお願いします。

16期清水.txt

シアトルの16期清水です。3月25日に家族が到着し、いよいよ新生活を始めたばかりです。

。沈床園でコンパですか。よろしいですね。ただし、くれぐれも注意してください。昔のようにやりすぎないように。2次会は香林坊、片町、または小立野でしょうか。こちらでは、公園や木の下で酒を飲むことは法律違反のようです。廻りにもたくさん桜が咲いていますが、特に日本式の花見をしている人は見当たりません。又、なぜかこちらの桜は非常に長い期間咲いており、なかなか散りません。

雨が降らないことを祈ります。ではまた。

17期小島.txt

4月22日帰国しました。香港駐在時にはお世話になりました。メールアドレスを設定しましたのでご連絡します。今後もよろしくお願い致します。お手数ですが、宛先変更願います。

17期渡辺.txt

ご無沙汰しております。いつもメールをありがとうございます。つかぬ事をお聞きしますが第7ギョーザのホワイト餃子についてですが、あの小立野店以外のチェーン店をご存知でしたらお教え下さい。と言いますのもこの連休に野々市町に昨年より住み始めた義弟から「遠いので知り合いにホワイト餃子を買ってきてもらっている」という話を聞きました。

四半世紀も前のことで思い出せませんがチェーン店だったような気がします。・・・

18期大西.txt

ご無沙汰しています。また、”やまざと”お送りいただきありがとうございます。

さて、かねてより家族で白山登山をしたいと思ってました。下の娘が今年小学校三年生になるので、やっと行けるかなと考えてたところなので、今回の企画は私にとっていい機会を与えていただいたと思っています。

思えば27年前、新人部員のころにはじめて山らしい山に登って感動したのが白山でありました。それまで2回のトレーニングは高三郎と医王山でザックに石を入れて苦労して、ピークに立ってもあまり感動は覚えず、こんな部はずぐにでもやめてやろうと決意しておりましたが・

白山は違った。大展望とお花畑と雪渓と・・・、最初からここに連れていかんかい、歩荷の苦労は感じなかった。初めて味わった充実感・・・

妻に、子供に魅力を知ってもらいたい。そんな気持ちで申し込みしたいと思いました。よろしくお願いします。妻、次女、三女、それに私の4人で参加希望します。(長女は中二ですが、肌が焼けるのとトイレの虫を極度に恐れて不参加)

テントを担いでいく気になれないので、ケビンへの宿泊を希望します。ケビンどまりははじめてなので、何を持っていったらよいのでしょうか。

また、これからの予定等わかったら教えてください。まだまだ先の話なので、近づいたらで結構です。ご面倒かけますがよろしくお願い申し上げます。

23期興井.txt

皆さん、ご機嫌いかがですか？

ゴールデンウィークの初日に早速ですが恵那山(中央高速道のあの恵那山トンネルの恵那山です)に登ってきました。日帰りで登れる山です。今年は雪解けがおそくて北アルプスの各山小屋も小屋開きに苦労しているとのこと。予想に反して恵那山もこの時期にしては春山そのものでした。半分以上を雪の上を歩く羽目になってしまいました。スパッツすら持たずに来てしまったので靴の中までぐちょぐちょになって下山してきました。幸い天気も良く、残雪にしっかり覆われた南アルプスや中央アルプスがよく見えました。下山後中津川に泊して翌日はちょっと寄り道、かねてから行ってみたかった都上八幡に寄りました。水の都、良い雰囲気町の町でした。ゴールデンウィーク後半は家族サービス？何して過ごすか今から考えます。

最近私の回りでも仕事上のストレスからうつなどの症状で職場を離れる方もいます。せっかくの長期休暇。皆さんも浮き世の憂さを忘れてしっかりリフレッシュしましょう！

25期高橋.txt

転勤によりe-mailアドレスが変わりましたのでお知らせします。

e-mail : taka@ples.fie.fujitsu.co.jp

以前は新宿のはずれの事業所迄約1時間余り、満員電車にゆられての通勤でしたが、今度は、なんと小学校以来となる自宅より徒歩10分のところにある事業所に転勤になりました。(東急・東横線/JR南武線の武蔵小杉駅前にある小杉タワープレイスです)行き帰りで約2時間、時間に余裕が出来たのは良いのですが、新宿のネオン街が懐かしいこのごろです。
!

26期畠山.txt

畠山、26期です。新潟県上越市在住です。

3月から夏までは山スキーの季節です。今年は3月の降雪が多かったため、残雪がたっぷりです。上越市の郊外に南葉山という900m程の山があります。医王山のように市民に愛されている低山です。車で20分で登山口のキャンプ場に着くと、標高差400mの急斜面を経て1時間ほどで頂上です。頂上直下は傾斜40度ほどで、なかなかの斜面です。眼下に高田城の桜を眺めながらの飛ぶような？ジャンプターンは気分を爽快にしてくれます。場所が身近なので、ジョギングのようなトレーニング気分何度か通っています。

最近カービングスキーにとりつかれています。ゲレンデスキーだけでなく、ショートスキーまでもカービングにしてみました。来年は山スキーも130cmぐらいのカービングタイプにしようと思っています。なにしろ短いわりに安定感があるし、楽しいスキーです。10年使った短いだけで不安定だった寸胴のショートスキーは下取りに出しました。ビンディングの安定性も増したせいもあり、90cmの長さでも荷物を背負ったジャンプターンにも十分耐えてくれます。

写真を貼付します。 それでは。

36期樫村.txt

いつもメールや会報など、送っていただいております。ありがとうございます。

そして、いろいろとお疲れさまです。

この春から、七尾市にある能登第二病院に職場が移りました。精神科の病院です。私はそこで臨床心理士(平たくいうとカウンセラー)として仕事をしています。

引っ越しもしたので以下のように名簿の変更をお願いします。